

## ジェラルド・ポステマ先生 (Prof. Gerald Postema) セミナーのご案内

この度、著名なベンサム研究者、法思想史・法哲学の研究者のジェラルド・ポステマ先生（ノースカロライナ大学、アメリカ）にご来日いただきまして、3月17日と19日に、同志社大学でセミナーを開催していただくことになりました。また、中国のベンサム研究者の Xiaobo Zhai 先生（マカオ大学）にもご来日いただきまして、両日のセミナーで、ポステマ先生のペーパーにコメントしていただきます。ポステマ先生には、3月17日は、ベンサムにつきまして、3月19日は、法の支配についてお話いただく予定です。各々のセミナー終了後、ポステマ先生を囲む懇親会を開催させていただきます。年度末の大変お忙しい時期かと存じますが、ご参加を歓迎いたしますので、是非、よろしく願いいたします。

※両日のセミナー、懇親会とも、事前連絡は必要ございません。是非、ご参加をご検討下さい。

※当日の報告原稿をご希望の際は、末尾の戒能のメールアドレスまで、ご連絡下さい。

### ①「パブリシティの理論家、ベンサム (Bentham: Theorist of Publicity)」

日時: 2016年3月17日(木) 15:00~18:00

場所: 同志社大学光塩館地下会議室

ポステマ先生による BENTHAM AND THE COMMON LAW TRADITION (1986) は、ベンサムをリベラルな思想家と捉えるベンサム・リヴィジョンニズムの代表作の一つです。本セミナーでは、ベンサムの最大幸福原理が、社会の利益の集計に基づくものではなく、各人に権利を付与する普遍的利益に基づいていたというベンサムのリベラルな側面が改めて強調されるとともに、ベンサムの道徳、政治、法理論の中心にパブリシティがあり、ベンサムの法概念も、ホッブズとは違い、単純な法命令説では捉えきれないことなどを論じていただく予定です。なお、当日は、英文のペーパーとともに、日本語の要約を配布いたします。通訳も適宜いたします。ポステマ先生からは、当日の参考文献として、'The Soul of Justice: Bentham on Publicity, Law, and the Rule of Law' というご論文を挙げていただきました。当日にも配布いたしますが、本頁末尾のポステマ先生の SSRN のページからもダウンロード可能です。

### ②「法の主権—法はいかにして支配できるのか (Law's Sovereignty: How Can Law Rule?)」

日時: 2016年3月19日(土) 15:00~18:00

場所: 同志社大学光塩館地下会議室

ポステマ先生は、現在は、法の支配についての研究を進めておられ、法の支配についてのご著書を準備されていると伺っております。このセミナーでは、法の支配を支えるエートスの重要性、公権力と市民の間だけではなく、市民相互の間で、法に基づく説明責任を果たすことが、法の支配にとって重要であることを、理論的な考察に基づきながら、論じていただく予定です。なお、当日は、ポステマ先生による英文ペーパー（あるいはレジュメ）を配布するとともに、参考文献として挙げていただきました 'Fidelity in Law's Commonwealth' と日本語の要約を配布させていただきます。通訳も適宜いたします。'Law's Rule: Reflexivity, Mutual Accountability, and the Rule of Law' というご論文も、参考文献として挙げていただいておりますが、2本とも、下記のポステマ先生の SSRN のページからダウンロード可能です。

※両日の参考文献につきましては、ポステマ先生の SSRN のページからダウンロードしていただけます（14と13、12です。当日も配布いたします）。

<http://ssrn.com/author=332996>



<http://www.law.unc.edu/faculty/directory/postemageraldj/>

(University of North Carolina ホームページより)

Academic Positions:

Arthur L. Goodhart Visiting Professor of Legal Science, Cambridge University, 2013-14

Cary C. Boshamer Distinguished Professor of Philosophy, University of North Carolina at Chapel Hill, 1997-present

Professor of Law, UNC School of Law, 2002-present

Publications, Books:

*Legal Philosophy in the Twentieth Century: The Common Law World*, author, (volume 11 of *Treatise of General Jurisprudence and the Philosophy of Law*) Springer, 2011.

*Jeremy Bentham: Moral, Political, and Legal Philosophy*, editor, Aldershot, England: Dartmouth Publishing Company, 2002, two volumes.

*Philosophy and the Law of Torts*, editor and contributor, Cambridge Studies in Philosophy and Law, Cambridge: Cambridge University Press, 2001.

*Racism and the Law: The Legacy and Lessons of Plessy*, editor and contributor, Dordrecht: Kluwer Academic Publishers, 1997.

*Bentham and the Common Law Tradition*, Clarendon Law Series, Oxford: Clarendon Press, 1986; "new in paperback" 1989.

Forthcoming Books:

*On the Law of Nature, Reason, and the Common Law: Selected Jurisprudential Writings of Sir Matthew Hale*, Oxford University.

*Handbook of Legal Reasoning and Argumentation*, co-editor with G. Bongiovanni, A. Rotolo, G. Sartor, D. Walton. Springer.

※お問い合わせは、戒能通弘 (同志社大学) までお願いいたします。( [mkaino@mail.doshisha.ac.jp](mailto:mkaino@mail.doshisha.ac.jp) )